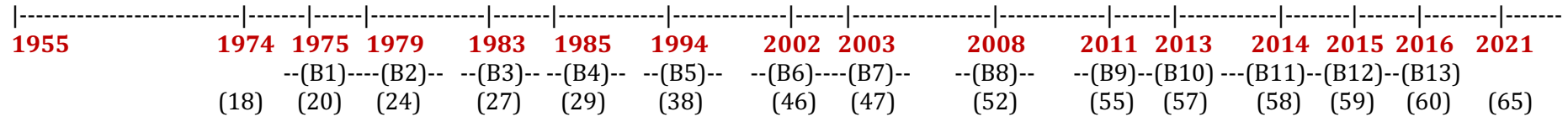


# ヒューレット ジョンのミニストリータイムライン

## I. 出発と人生の基礎 (奉仕の準備)

## II. 単独からパートナーシップへ

## III. 仕事人間から牧会者ケア担当へ



- |   |  |   |
|---|--|---|
| <p>A. 未熟児に生まれ目の不自由<br/>共依存症の始まり (1955)</p> <p>B. 日本、グアム島、アメリカでの生活<br/>救い、大学時代 (1968-1978)</p> <p>C. 就職、召し、結婚、ミニストリー<br/>の初期時代、神学校<br/>(長男、長女生まれる)<br/>(1978-1985)</p> | <p>A. 西多摩バプテスト教会の<br/>開拓伝道 (1986-94)<br/>(次女、三女生まれる)</p> <p>B. 川崎市の家庭集会<br/>主の導き、祈りの答え<br/>(1996-2001).</p> <p>C. 埼京のぞみチャペルの開拓伝道<br/>都会伝道のチャレンジャー (自殺、燃え尽き)<br/>(1996-2004)<br/>フラー神学校 (1999)</p> <p>D. 宣教団で代表役員 (2002-2009)</p> <p>E. 田園グレースチャペルの開拓伝道協力<br/>(2004-2008)</p> | <p>A. 孤独感の季節。ゴルドン大学で<br/>在留宣教師 (2008-2010)</p> <p>B. 砕かれた存在から川ミニストリー(TSM)<br/>の立ち上がりへ (2010).</p> <p>C. 東日本大震災-規模の拡大 (2011)</p> <p>D. 災害対応チャプレンになる (2012)</p> <p>E. 宣教団の辞任と別団体再就任 (2013)</p> <p>F. 仙台へ引っ越し、TSM 再出発 (2014)</p> <p>G. ベテル大学牧会学博士号取得 (2015)</p> <p>H. COVID-19 ミニストリーのパラダイムシフト(2020)</p> |
|---|--|---|

### 大切な転機

- B1- 信仰決心 (1975)
- B2- 献身 (1979)
- B3- 生涯宣教師の任命 (1983)
- B4- 宣教師として日本へ (1985)
- B5- 日本人牧師を呼ぶ (1994)
- B6- 燃え尽き (2002)
- B7- 日本人牧師を呼ぶ (2003)
- B8- 孤独感の季節 (2008)
- B9- 東日本大震災 (2011)
- B10- 宣教団を変える (2013)
- B11- 仙台へ引っ越し (2014)
- B12- 博士号を取得 (2015)
- B13- 教会活性化 (2016)

### 学んできた大切なこと

1. アイデンティティーを見つけるのは自分の責任ですが、助けが必要です。
2. 情緒は大事で、それを受け止め、管理することがポイントです。
3. 夢を持ち、妻の夢を聞き、応援すること。
4. 自分を変えることは勇気が必要です。
5. 自分は神様の目から見て高価で尊い。
6. ゆっくり急げ。
7. 存在、時間、空間、励ましは素晴らしい贈り物です。
8. いくつしみと恵みが私たちを追って来るのです。
9. 神様を追い求めるように導かれるので、弱さを迎え入れる。
10. ミニストリーを自ら立ち上がることを遠慮し、招待されるまで忍耐を持つ。